

# ふれあいの丘に 「シルク」が誕生!



## シルクのサービス

### ■長期入所サービス

24時間体制で介護にあたり、日常生活に必要なサービスを提供しています。

※入所定員は50人

### ■短期入所サービス

介護者が都合により、一時的に介護できなくなった場合にお年寄りをお世話しています。

※入所定員は15人

### ■デイサービス

入浴・給食・リハビリ等のサービスを提供しています。

※1日あたり、おむね15人

### ■在宅介護支援サービス

介護を必要とするお年寄りと、その介護をされている家族の方々の悩みごとや、心配ごとに助言などをしています。

利用は無料、電話は24時間受け付けています。

### ■ヘルパーサービス

介護や家事の援助が必要とする家庭に、ホームヘルパーが訪問して援助をするサービスを行っています。

※各種のサービスを利用するためには、入所要件等がありますので、詳しくは  
町保健福祉課(☎74-3131)または  
在宅介護支援センター(☎60-4151)へ  
お問い合わせ下さい。

4月1日、甘菜ふれあいの丘に建設が進められていた特別養護老人ホーム「シルク」が開所しました。理事8名、監事3名、職員37名で運営を行い、5月1日現在で長期サービスが22人、短期サービスが4人入所しています。

この特別養護老人ホームの整備は、平成6年度に町が策定した「甘菜町老人保健福祉計画」に基づき、高齢化社会に対応する施設として早急に計画が進められました。

計画実現にあたって、国・県・市の全面的な指導・助言を受けて、社会福祉法人「かんら会」(香山安弘理事長)が設立され、平成8年3月に工事に着手。この施設の建設から運営までを行っています。

この施設は、5種類のサービスを提供する総合福祉施設で、長期・短期の入所サービスなど特別養護老人ホーム・シルクとしての役割のほか、デイサービス、在宅介護サービス、ホームヘルプサービスを町からの委託によって行っています。

運営にあたっては、長い間それぞれの立場で活躍された方々が、高齢期を楽しく、健やかに過ごすための施設として利用されることを目的としています。

施設長の森平恵典さんは、「人が人を変えること、それが福祉であるという考えで、あらゆる人が当たり前暮らしにできるように生活をサポートしてやりたい。そんな気持ちで頑張ります」と話していました。また職員には「相手の気持ちを理解し、本当に必要な時には己を忘れても手を差しのべてやってほしい。相手を理解するということは、自分を振り返り、自分自身を高めることにもつながります」と教えているそうです。

入所した方は、「初めは不安だったが、来てみて本当によかったと思っています。職員の人とても親切にしてくれて、毎日楽しく過ごしています」と笑顔で話してくれました。

## シルクの建設、運営にあたって



社会福祉法人 かんら会  
理事長 香山 安弘

わが国の高齢化は急速に進んでおり、平成十四年(二〇〇二年)には、世界最高齢の高齢化率(二・八・三%)という世界のどの国も経験したことがない、本格的な高齢化社会が到来するものと予測されています。

平成十年の国勢調査の統計によれば、人口に占める六十五歳以上の人口(高齢化率)は、甘菜町で一八・六%、甘菜郡で三二・四%、富田町を合わせた二〇・一%で、富田四人、一人分六十五歳以上のお年寄りとなります。

「この施設は、そのような観点のもと、国のゴールドプランや町の老人福祉計画に基づき、県や町、議会の関係者の理解と協力を得ながら建設されたのです。

広い意味で、国のために尽くしてきた方々に敬意を表し、お年寄りが安心できるように、安全であって、安心して生活を送ってほしいと思います。

また甘菜町に住んで良かったという町民への一歩を私自身も感じたこと(この施設は、理事長を引き受けさせていただきました。

施設名「シルク」は、甘菜町の伝統産業である養蚕にちなみ命名しました。建物の設計には建築家を用い、外壁の一部には天然石